

# Support

[http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/gakko\\_keikaku/support.html](http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/gakko_keikaku/support.html)

第1号

令和3年4月1日

編集・発行

学校支援課 広報担当

## 令和3年度のスタートに当たって

学校支援課長 山田 哲哉

### 1 with 新型コロナウイルス

昨年度のこの紙面のタイトルは、「かつてない新年度のスタートに当たって」でした。かつてない状況が未だに続くとは、1年前には予測できませんでした。

かつてない1年間、各学校園では、様々な場面で岐路に立たされながら、その実態に応じて、そして、子どもの安全や健全育成を第一に、判断・決断してくださいました。改めて感謝申し上げます。

判断・決断を繰り返す中で、様々な教育活動がふるいに掛けられ、働き方改革の加速もあり、スクラップ&ビルドが進んだことと思います。

今後も継続すべき意義のある教育活動、継続するが改善を加える教育活動、実施せずとも影響のなかった教育活動、今の状況に応じて新たに必要な教育活動等々。新学習指導要領全面实施(小:2年度～,中:3年度～)のタイミングで、リスクマネジメント、カリキュラムマネジメント、働き方マネジメントが同時に進んだといえます。

新型コロナウイルスへ感染予防対策は、まだまだ続きます。各教育活動の「目的の明確化」「内容精選」「実施方法の工夫」を今後も継続していただきますようお願いいたします。



### 2 with タブレットPC

GIGAスクールが本格的にスタートします。これまでも様々な機会にお伝えしてきましたが、タブレット端末は、主体的・対話的で深い学びを促すための手段の一つです。1人1台端末の導入により、情報収集等(インプット)、自分の考えの表出等(アウトプット)の手段の選択肢が格段に広がるのです。まず日々の授業の中で、積極的に使ってみたいと思います。「使う」「慣れる」が第一段階です。

ただし、タブレット端末活用ありきではなく、目的を明確にした上で、必要に応じて活用いただきたいと思います。

また、接触が制限され、ソーシャルディスタンスを保つことが求められる今だからこそ、本物と直接「触れ合う」体験、心の距離を縮める「かかわり」、温かな「空気感の共有」をこそ、大切にしていきたいと思っています。

「麓から頂を見上げて感じる山の高さ」「絵の具の厚みや勢いも含めて見る本物の絵画の迫力」「ライブ演奏で味わうグルーブ感・シャッフル感」「綺麗なハーモニーが響き渡ったときの爽快感と一体感」「春の温かな空気・春のにおい」「粘土や砂の触感」等々、直接体験でなければ実感できないことがたくさんあります。画面や映像だけでは、「空気感」「熱気」は伝わらないのです。

デジタルとアナログ、間接体験と直接体験、オンラインによるコミュニケーションと対面によるコミュニケーション等を目的に応じて使い分けながら、「実感を伴った学び」を目指していただきたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。